

温泉トラフグ試食会

7月30日、那珂川町温泉トラフグ研究会主催の温泉トラフグ試食会がグリーンパルで開催されました。

同研究会の野口勝明代表からは「研究会を立ち上げて3年目。やっ」と口に合うトラフグが出来ました」と自信に満ちたあいさつがあり、須藤揮一郎県副知事からは「海の無い県でのトラフグの養殖。オンリーワンの地域ブランドが出来、非常に楽しみです」と期待が述べられました。改良を重ねた結果、「味も歯ごたえも天然ものと遜色が無い」と皆さんから太鼓判を得た温泉トラフグはいよいよ今年から町特産品として各地へ出荷されることとなります。



田んぼの生きもの観察会

8月1日、下芳井はたるの会では、農地水環境保全向上対策事業の一環として、田んぼのまわりの生きもの観察会を実施しました。

水士里ネットとちぎの生きもの調査アドバイザーの高橋さんから「暑い日中は、草むらの影に生物は隠れているので、注意して捕獲してください」とアドバイスを受けた子どもたちは、早速、用水路に入るとサデ網など使って、ガサコソと草むらを探っていました。

タガメやヤゴなどの水生昆虫、カエルやザリガニのほか、昨年に引き続きヤツメウナギが見つかるなど26種類の生物を今年も発見することができました。捕まった生物は地元のビオトープに放し、引き続き観察することになりました。

新制服ファッションショー

8月3日、馬頭高校で新制服のファッションショーが行われました。このファッションショーは、中学生を対象にした一日体験学習の中で行われ、ステージの上で夏服や冬服などを着た生徒が実際に新制服を着て披露しました。

この制服は、来年度の新1年生から着ることになるそうで、ファッションショーに参加して、実際に新制服を着てみた生徒に感想を聞くと、「ピンクのラインが入ってかわいし、ウエストの部分がきゅつと締まって細く見えて、とてもいい感じですよ。」と着心地はよさそうでした。



関東中学校陸上競技大会激励会

全日本中学校通信陸上競技大会栃木県大会において、走り幅跳びで見事2位となり、第38回関東中学校陸上競技大会へ出場することになった、荒井のぼるさん(馬頭中3年)が、8月6日、町長室を訪れ、大金町長から激励金が手渡されました。

大金町長は、「暑いので、熱中症に注意して、ベストコンディションで頑張ってください」と激励のことがありました。

関東大会は、千葉県総合スポーツセンター陸上競技場で8月10日に開催され、荒井選手は、健闘しましたが、惜しくも入賞を逃しました。



左側1人目が荒井のぼるさん

鈴木ツマさん 祝100歳

鈴木ツマさん(富山)が8月24日に100歳を迎え、大金町長からお祝い金と花束が贈られました。

鈴木さんは、昔から百姓をやっている、93歳くらいまでは畑仕事をやっていました。中でも、小豆を作って、その小豆を使った手作りのようかんをみんなに食べさせるのが楽しみだったそうです。

性格は几帳面で、出かける時に着ていく服がどこにあるのかすぐに分かるそうです。

丈夫で今も元気な秘訣は、好き嫌いをせず、何でも食べることだそうです。



小学生が川の自然を満喫



8月8日から2泊3日の日程で町内の小学生25名が参加し、川遊びやキャンプなどで自然を体験する自然体験活動「ネイチャークラブ サマーキャンプ」が行われました。

クラブでは、馬頭高校水産科の協力のもと川の安全講習を開催。武茂川を中心に川流れや飛び込みなど体験した子ども達は、「川には魚がいっぱいいた」「思ったよりも川の流れがはやくて驚いた」「ライフジャケットなしでは、川で遊んではいけない」などと3日間のキャンプの中で学んだことをいきいきと語り、みなさん元気に夏を満喫していました。

国士館大生との交流会

8月21日、浄法寺公民館で地元住民と国士館大学の学生との交流会が開催されました。

この交流会は、国士館大学で考古・日本史学を専攻している学生たちが、夏休みを利用して地元で発掘調査をしていたことが縁で、6年前から実施、今年も浄法寺環境保全委員会が管理しているコスモス畑を地元の方と一緒に除草した後、みんなで流しソーメンやいのしし肉のバーベキューを食べ、楽しく交流しました。

今年で5年目の同大学院生の新井泰介さんは「一年ぶりに再会出来てうれしく思います。また来年も来ます」と笑顔で述べてくれました。



クリーンアップ作戦



8月26日、町商工会青年部主催のクリーンアップ作戦が行われました。これは、全国商工会青年部連合会を中心に全国統一運動として同日同時刻に全国一斉に行われるもので、今回は、郵便局やJAなど、町内の団体から約100名が参加しました。同青年部の高野祐治部長のあいさつの後、道の駅ばとうからリオンモールまでの区間を、班ごとに分かれて、道路周辺などのゴミ拾いを行いました。

参加者の皆さんは、歩道やその周辺に落ちていたゴミを、1つ1つ丁寧に拾っていました。